この花の影

吉田とし

COBALT·BOOKS

この花の影

＊定価はカバーに表示してあります　0393-663035-3041

昭和44年3月10日　初版発行
昭和49年7月　8版発行

著者　吉田とし
編集　株式会社サン・パブリシティ
東京都千代田区神田神保町1—29
電話（294）2781
発行者　陶山巌
印刷所　株式会社常磐印刷所
錦印刷株式会社

発行所　東京都千代田区一ツ橋2—5—10 郵便番号 101　株式会社 集英社　電話 東京(265)代表6111 振替 東京 15653番

© 1969 PRINTED IN JAPAN　著者と了解のうえ検印を廃止します

この花の影

吉田とし

集英社

作者のことば

あるとき、ふと、こころの中にやさしさの泉が湧き出し、あこがれの芽が萌え出る——。ひとがはじめて、この美しい奇蹟にあうのは、まだ、少年、少女、と呼ばれる日々のことです。

その泉が、どのような流れになり、その芽がどんな花を咲かせるか、だれも予想することはできません。

ただ、わたしたちが、毎日を精一ぱい生きる中で、流れも花も、そのすがたを、ゆたかに美しくして行くのでしょう。

〝この花の影〟——に行き交い、たたずむ若いいのちの中に、わたしは人生の貴重なスタートを見つめ、強いねがいをこめたつもりです。

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

目次

ひとの日記 13
白いツバキ 28
男らしさ 44
花さく夜 61
光るなぎさ 75

精神統一 91
ベッドのわき 106
ぬれるままに 121
おどり場 137
目撃 150
ちいさい太陽 167
ことしの花 181

装幀さしえ・土居淳男

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

この花の影

ひとの日記

あ、これ、わたしのじゃないわ！

気がついたときはもうおそかった。紺の皮表紙、ハガキよりちょっと大きめのカギのついた日記——敦子(あつこ)は、自分のとまったくおなじその日記の、開かれたページを読んでしまっていた。きちんとした字の二行が目にやきついた。

〈美しいものは、美しいのだ。
自分の心はごまかせない〉

その日、夕食後、敦子はへやにこもって、学校の図書室から借りてきた本を読みはじめ、一気に読みあげた。あした返すつもりで、その本を通学用カバンにしまいかけ、ふと、ノートのあいだに日記を見つけた。

（あれ、こんなとこに、いついれたんだろ）

敦子はくびをかしげながらぬき出し、ついでにいま読んだ本の感想を書こうとしてカギをあけた。なにげなく開いたのと、そのページの二行がさっと目にとびこんできたのと、ひとの日記だと気づいたのと、時間でいえば、それぞれ、何分の一秒、というくらいの差だ。こういうのをひと口に、一瞬、というのだろう。

敦子はぱしっと日記をとじ、電気スタンドの下で、まじまじと表紙をながめた。

(いやだ、わたしのと、まるっきりそっくり)

急にカチカチと、本箱の上の目ざまし時計がはっきりと聞こえだし、耳の奥で血がじんじんと鳴りはじめる。

(だけどいったい、どうしてこれが、わたしのカバンにはいってるのかしら)

敦子はおぼえがない。さっぱりわからない。

つくえの上の本立てには、自分の日記がちゃんとならんでいる。敦子は手をのばした。自分の、と思っているこれも、ひとのじゃないだろうか。本立てにあったからといって、敦子のものとはかぎらない……。小指の三分の一もない小さなカギを、表と裏の表紙に渡したベルトのカギ口に、カチッとさしこんで、敦子は顔をしかめた。

四月七日。きのうの日づけが出た。

ああ、わたしのだ……。ほっとする。

〈きょうから二年生。C組になった。担任(たんにん)は青だぬき……〉

まるまるとした字が、ころころとつながって、十行ばかりならんでいる。スマートな皮表紙の、

カギまでついた日記に書くような、ひそかな秘密やすてきなことばが、どこを開いても見当たらないのが残念だ。

敦子は、もう一冊の日記をとりあげた。

(こっちの四月七日には、どんなことが書いてあるかな)

あけようとして、敦子はためらった。

(いけない。ひとの日記じゃないの)

背すじをしゃんとのばして、目をつぶった。ほおが熱くなってきた。

(ひとのものとわかってから、こっそり読もうとするなんて、悪いことよ。いやしい、はずかしい根性よ。恥じろ、恥じろ、敦子)

いつもの敦子なら、たいていここでふみとどまれる。だが、どうしたことか、きょうはびしゃっと心のきまりがつかない。悪いことだと思うそばから、色とりどりのきらきらしたものが、心をとりまいてあわだつ。

あわはプチプチとはじけて、ことばになった。

——ちょっとくらい　ちょっと

——いいさ　いいさ　いいさ

——だれもいない　いない

——みてごらん　みてごらん　敦子

(ユーワクだ。これが悪魔の誘惑ってもんなんだ)

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com